

近鉄大和西大寺駅北側の歩道老朽化 地元の皆さまと要望し補修

近鉄大和西大寺駅北側の歩道(谷田奈良線)が老朽化により、損傷やでこぼこが生じ、点字ブロックのはがれなどが見られたため、地元の皆さまと共に要望し、県土木事務所に補修工事をしていただき



補修工事前 ↓ 補修工事後

ました。市内でも自動車、歩行者を含めて交通量の多いこの道路と歩道の安全確保に対して、地域の皆さまから改善の要望をお受けしていました。損傷してでこぼこしていた歩道はフラットになりました。

ドクターカー出動へ 担当医師の確保を求める



奈良市は、救急搬送の際、重症患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図る目的で、救急車の出動に加えて医師が現場で一刻も早い処置を行う「ドクターカー」II写真IIを出動させています。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、ドクターカーの運用状況について一般質問や委員会で取り上げました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、市立奈良病院の医師、看護師の方々が日々、最前線の対応に追われる中、ドクターカーの出動件数は昨年4月から8月までゼロと、出動が困難な状況が続いており、わたしは、出動できるように求めました。市は、出動できる体制を整える

ため、医師の確保に取り組みんでいく考えを示しました。わたしは、市民の安心・安全につなげてもらうため、ドクターカーで出動できる医師の確保にしっかりと取り組んでもらうことを強く要望しました。

消防職員不足解消へ 即戦力採用枠を提案

近年は突発的な集中豪雨や台風災害、そして地震への備えが求められており、わたしは今期の議会活動の中で市の防災力や消防力の強化に対する提案、質問に力を入れてきました。特に不足している消防職員の拡充、若手の育成を求めると共に、採用の際、経験者枠、即戦力枠を設けることなどを提案しました。

奈良市の消防職員の条例定数は412人ですが、近年はこれを下回っている状況が続いています。さらに退職者も多く、市民の生命、



フードバンクセンター開設

コロナ禍で経済支援、子育て世帯対象に

奈良市は昨年12月1日から、新型コロナウイルス感染症拡大で経済的困難を抱える子育て世帯を対象に、子どもの食の支援を行う拠点「フードバンクセンター」を開設しました。平成26(2014)年に閉園した旧市立佐紀幼稚園(同市佐紀町)II写真IIの建物を整備し、運営は「NPO法人フードバ

ンク奈良」に委託します。フードバンクセンターは家庭や企業などで余った食品を受け取り、保管や仕分け作業ができる物流倉庫。センターでは、賞味期限が原則2カ月以上あり、常温保存ができる未開封のコメや調味料、菓子などを受け付けています。

「わたしは、火災の予防業務に注力し、予防業務の組織的な体制づくり、専門的な力を育てていくことを強く要望しました。

プレミアム商品券、本年も発行

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、冷え込んだ市内経済対策として市は、市議会3月定例会で、奈良市プレミアム商品券の発行を行うための予算案を上程し、市議会はこれを可決しました。

商品券は1000円券10枚、500円の飲食専用券6枚の計1万3000円が1冊綴りになっており、価格は1万円です。飲食専用の3000円分は市内の飲食店を支援する目的があります。市は計13万冊(17億円分)を発行します。

利用は当初、5月中旬から開始を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染の再拡大を受け、7月1日からの利用開始に見直しました。利用期間は10月31日までです。

詳しくは奈良市プレミアム付商品券コールセンター ☎0570-078-780へ。

facebookで市政情報やさまざまな地域活動の情報を発信しています。



貴重な文化財を 火災から守る

奈良市内には、世界遺産登録建造物や文化財建造物が多くあり、



指定避難所配備の 「避難所開設キット」 より内容の充実求める

市は昨年度、全ての指定避難所に「避難所開設キット」を配備しました。これは避難所の開設を誰でもスムーズに、必要なレベルで行えるよう、新型コロナウイルス感染症対策も踏まえたマニュアルや、掲示物、文具、非接触式体温計、アルコール消毒液などをパッケージ化したものです。

市議会本会議の一般質問では、これら避難所開設キットの内容物の追加やバージョンアップについて市の考えを聞き、適宜充実させるよう求めました。